

No.32 事業名 自殺予防対策	23年度 予算額	419 千円	新規 拡大 継続
------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

わが国では、自殺者が平成10年以降、3万人を超える状況が続いている。

豊岡市でも平成18～20年の自殺率は29.2（人口10万人対）で、平成20年の国（24.0）県（21.9）を上回っている。

自殺につながる要因は、健康をはじめ経済、生活、家庭など多岐にわたっている。

市民一人ひとりが自殺や「うつ」の基礎知識を学び、予防のために行動できるよう知識の普及啓発を図り、自殺率を減少させる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・リーフレット全戸配布による啓発
- ・専門医による（精神科医師）こころの健康相談実施（2ヶ月に1回）
- ・啓発イベントの実施

(2) 事業期間

平成22年4月～

(3) 実施主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

419千円

(2) 事業内容

【啓発イベント】「2011 こころの元気アップフェスタ」（仮称）

日時：平成23年7月3日（日）10：00～16：00

場所： アイティ 7階 市民プラザ

内容： 講演会（講師：精神科医）

コーナー展示（メンタル・運動・栄養・国保 他）

こころの相談（精神科医等） 等

担当課名【健康増進課】（内線3101）

No.33 事業名 予防接種の拡大	23年度 予算額	49,799 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

平成24年までに国内麻疹排除という国を挙げての目標にむけ、幼児期に2回接種していない年齢世代(中学1年、高校3年)に平成20年度から5年間の時限措置として麻疹風しん予防接種を実施する。

重篤な副作用の可能性から積極的勧奨を差し控えてきた日本脳炎ワクチンは、副作用の可能性の低い新たなワクチン接種が、可能となった。平成23年度からは、勧奨再開した第1期の追加接種に加え、未接種者や第2期の接種も順次再開となる。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

##### 麻疹風しん予防接種

中学1年生及び高校3年生に相当する年齢のものを対象に麻疹風しん混合ワクチンの接種を行う。

##### 日本脳炎予防接種

法に定められた対象年齢3歳～7歳6か月の幼児。9歳～13歳未満の児童に対し日本脳炎ワクチン接種を行う。

#### (2) 事業期間

平成23年度 麻疹、風しん予防接種（平成20年度～平成24年度）  
日本脳炎予防接種一部再開（平成22年度～）

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

49,799 千円

#### (2) 事業内容

市内協力医療機関での個別接種（全額公費負担）

No.3 4	事業名 健康行動計画の中間評価・見直し	23年度 予算額	3,253 千円	新規 拡大 継続
--------	------------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

健康増進法第8条第2項に基づき、平成19年度に作成した市の保健分野の基本的な指針である「豊岡市健康行動計画」については、平成24年度に中間評価・見直しを行うとしており、23年度中に住民意識調査を行い、計画時の調査との比較や現状把握を行う。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

平成23年度 アンケートによる住民意識調査の実施  
調査の集計・まとめ

平成24年度 策定委員会、庁内連絡会、パブリックコメント等を実施し、中間評価・見直しを行う。

#### (2) 事業期間

平成23年度～平成24年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

3,253 千円

#### (2) 事業内容

平成24年度に行う、計画の中間評価・見直しのための住民意識調査アンケートを一部業者委託して実施する。

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

#### 調査数

- ・母子アンケート 3,000件
- ・成人アンケート 2,000件

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

No.35	事業名	子宮頸がん等ワクチン接種 費助成	23年度 予算額	124,794 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------	------------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

国際的な動向や、病気の重篤性から、予防接種法上の定期接種化が検討されている子宮頸部がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を促進するため、接種費用の助成を行う。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

3種類のワクチン接種希望者に接種費用を助成する。

接種希望者は、申請により市の窓口で接種助成券を受け取り、市内の協力医療機関で接種を受ける。

ワクチン種類	対象年齢	標準回数	助成上限額
子宮頸部がん ワクチン	中学1年～高校1年	3回	15,000円/回
小児用肺炎球菌 ワクチン	生後2～7ヶ月未満	4回	10,000円/回
	生後7～12ヶ月未満	3回	
	1歳～2歳未満	2回	
	2歳～5歳未満	1回	
ヒブワクチン	生後2～7ヶ月未満	4回	8,000円/回
	生後7～12ヶ月未満	3回	
	1歳～5歳未満	1回	

#### (2) 事業期間

平成22年11月26日～平成24年3月31日

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

平成23年度 124,794千円（補助率 国1/2、市1/2）

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

124,794千円

#### (2) 事業内容

希望者は、申請により接種助成券を受け取り、市内の協力医療機関で接種を受ける。

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

No.36	事業名 緊急医師確保対策就業支度 金貸与事業の創設	23年度 予算額	10,000 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

市内の公立病院において、市民に必要不可欠な医療提供体制に支障が生じる恐れがある場合に、就業支度金を貸与することにより医師を確保し、医療の崩壊防止と市民の健康で安心な暮らしに資する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ① 貸与対象者 市内の公立病院で緊急又は確実に確保しなければならない診療科に、新たに常時勤務する職員として診療に従事する医師。但し、大学、県からの派遣による医師は除く。
- ② 貸与期間 3年間、無利息で貸与
- ③ 貸与金額 500万円を限度とし、認定資格により上限額を定める
- ④ 返還免除 3年間当該診療科で勤務したときは全額免除する  
3年に満たない場合は、勤務した年数に応じ一部免除する
- ⑤ 免除の方法 勤務の年毎にその年の勤務月数に相当する額を免除する

#### (2) 事業期間

平成23年度から

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

10,000千円

#### (2) 事業内容

5,000千円×2人分

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

貸与の対象診療科、 麻酔科、呼吸器科、その他市長が必要と認める診療科

No.37 事業名 出会い交流事業	23年度 予算額	2,000 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

独身者の新たな出会いを支援することにより、「晩婚化・未婚化の進行」を緩和し、定住人口の増加を目指す。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

独身者の出会いの機会をつくるため交流会を開催する。また、自己啓発セミナーを開催し、独身者の結婚への意識を高める。

#### (2) 事業期間

平成21年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

2,000千円（地域子育て創生事業を活用 補助率100%）

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

2,000千円

#### (2) 事業内容

市の直接実施として、独身者の出会いの機会をつくるため交流会を年3回開催する。また、豊岡市商工会へ委託し、独身者の結婚への意識を高める自己啓発セミナー及び交流会を開催する。

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

[平成22年度実施内容]

- ・平成22年10月23日（土）交流会開催（スイーツバイキング）
- ・平成22年12月11日（土）交流会開催（軽食バイキング、カクテル）
- ・平成23年2月26日（土）交流会開催予定（ランチバイキング）

担当課名【経済課】（内線2315）

No. 38 事業名 経済成長戦略の推進	23年度 予算額	31,152 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	-----------	----------------

## 1 事業目的（趣旨）

地域の担い手である若者の定住・雇用を安定するとともに、本市の経済・産業を活性化させ、市内総生産を向上させることで持続可能な地域社会を構築し、将来像である「環境都市『豊岡エコバレー』」を目指す。

## 2 全体の事業内容

### (1) 内 容

#### ①若者定住促進

但馬技術大学校生の市内企業への就労及び定住促進を図る。

#### ②農家民宿 101 軒大作戦（検討プロジェクト ※調査研究の上で実施の是非を判断）

近年ニーズの高い農家民宿派を取り込み、交流人口の増加を図る。

#### ③技術革新支援

地域産業の振興や地域経済の活性化のため技術革新に取り組む事業者を支援する

#### ④産官学連携

大学の持つ知見、識見等により、産業界や市の課題の解決やニーズの充足を図る。

#### ⑤労働力確保支援

地元高校生等の地元就職率を向上させるとともに、都会に流出した学生や若年者のU I J ターン推進し、若年者雇用の確保を支援する。

#### ⑥食の都づくり推進

優位性のある食材やテーマで、地産地消を進め、新しい食文化で地域に大きなムーブメントを創出する。

#### ⑦豊岡ものづくり支援センターの推進

産業競争力を高めるため、豊岡ものづくり支援センターを設置し、有効な産業政策を展開する。

#### ⑧（仮）豊岡市工業会支援

（仮）豊岡市工業会を設立し、同業種・異業種・産官学などによる交流を通して、地域経済の発展を目指す工業会を支援する。

#### ⑨企業・技術ガイドブックの作成

市内にある優良企業を広く紹介し、人材確保を支援するとともに、市内企業が有する優れた技術・製品等のPR、新規取引、販路拡大を支援する。

#### ⑩事業承継の推進

相続紛争や業績悪化を防止するとともに、中小企業への事業承継を支援し円滑な事業承継を推進する。

### (2) 事業期間

(1) ①、④、⑨「企業ガイドブックの作成」は平成 21 年 4 月 1 日～

(1) ②は平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

(1) ⑦、⑧、⑨「技術ガイドブックの作成」は平成 23 年 4 月 1 日～

(1) 上記以外は平成 22 年 4 月 1 日～

(3) 事業主体

①～⑦及び⑨～⑩は豊岡市 ⑧は(仮)豊岡市工業会

3 23年度予算

(1) 予算額

31,152千円

(2) 事業内容

①若者定住促進

但馬技術大学校に通学する生徒(5名程度)の授業料を補助(補助額199千円)する。

②農家民宿101軒大作戦(検討プロジェクト ※調査研究の上で実施の是非を判断)

農家民宿開設にかかるニーズ・課題等の調査研究を行うため、セミナーを開設する。

③技術革新支援

環境経済型の新製品等開発事業や市場適応能力を高める先駆的な取組事業などのほか、環境経済型以外の新製品等開発事業や新分野進出支援事業などの技術革新事業に対して、補助を行う。

④産官学連携

兵庫県立大学経済学部や産官学公人材イノベーション推進協議会(兵庫県立大学大学院経営研究科事務局)との連携協力を推進するとともに、兵庫県立大学全学協定に向けた取組みを推進する。

⑤労働力確保支援

市内高校生の企業見学会の開催、インターンシップ(職場体験)の実施、就職フェアの開催など若年者雇用の確保を支援する。

⑥食の都づくり推進

鹿肉料理や但馬牛(特に経産牛)、豊岡のお菓子の普及啓発を進める。

⑦豊岡ものづくり支援センターの推進

ものづくり支援センターを設置し、ものづくり支援とマーケティング支援を行う。

⑧(仮)豊岡市工業会支援

(仮)豊岡市工業会の事業費の1/2を補助する。

⑨企業・技術ガイドブックの作成

2012年度版企業ガイドブック及び技術ガイドブックを作成し、就職を控える学生等への配布や技術・新製品を求める企業等へのセールスプロモーションとして活用する。

⑩事業承継推進

事業者及び後継者を対象としたセミナーや実務家向けセミナーを開催するとともに、相談受入体制を整備する。

担当課名【経済課】(内線2306)



No.39 事業名	中心市街地活性化基本計画 の策定	23年度 予算額	4,570 千円	新規 拡大 継続
-----------	---------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

豊岡駅を中心とした中心市街地が、高齢者を含む多くの人にとって暮らしやすいまちとするため、さまざまな都市機能が集積し、まちの個性や歴史を活かしながら「歩いて暮らせるまちづくり」コンパクトシティを目指す。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

中心市街地を構成する商業者や地権者、市民、民間企業、交通事業者など関係者で設置した「中心市街地活性化基本計画策定委員会」で、「「まちで暮らす」ということをもう一度、みんなで考え直す」をメインテーマに設定し、豊岡という地域ブランディングを進めるとともに、戦略的プロジェクトにより、中心市街地活性化策のプロデュース（企画）、マネジメント（経営・運営）ができる組織作りの検討までの計画策定を行う。

一方、商工会議所が平成23年1月に設置した「中心市街地活性化協議会」では、委員の多くにかばん関係者を委嘱、いちご駐車場及び隣接する空き店舗を活用し、かばんに特化したまちづくりをカバンストリートで展開する検討を始めている。

基本計画策定においては、市街地東部活性化のためのいちご駐車場の活用と、新庁舎前広場及び南庁舎別館等の有機的な活用による活性化策を盛り込む必要があり、協議会提案と合わせて基本計画を取りまとめる。

#### (2) 事業期間

平成22年度～平成27年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

4,570 千円

#### (2) 事業内容

- ・ 中心市街地活性化基本計画策定委員会の運営（3～5回程度）
- ・ 庁内作業部会の開催（随時）
- ・ プロジェクトの推進エンジンとなるまちづくり実行組織の検討
- ・ 中心市街地活性化協議会への参加及び調整
- ・ いちご駐車場、市庁舎前広場、南庁舎別館を核とした重点プロジェクトの検討

担当課名【経済課】（内線2302）

No. 40 事業名 定住促進	23年度 予算額	6,371 千円	新規 拡大 継続
-----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

経済成長戦略プロジェクトとして、定住及びU I Jターンを推進し、活力あるまちづくりを図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

【空き家バンク制度】

空き家等の物件情報を登録してもらい、求める方へ情報提供し、空き家等の流動化の促進と定住人口の増加を目指す。

【田舎暮らし体験施設】

移住を希望する方に、豊岡を肌で感じてもらうことにより移住に対する不安を払拭するため、田舎暮らしのお試し住宅を運営する。利用は3日から1ヶ月までの期間。

【中山間地域定住促進】

過疎地域や辺地集落にある空き家バンク登録物件の改修費用を補助し、空き家の流動化と定住促進を図る。補助率4分の3以内、1,000千円を限度とする。

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 23年度予算

(1) 予算額

6,371千円

(2) 事業内容

①空き家バンク制度 通年運営

②田舎暮らし体験施設 既存施設の運営（但東町中山、竹野町桑野本）

③中山間地域定住促進（過疎地域分は過疎地域戦略的プロジェクトへ再掲）

担当課名【経済課】（内線2314）